

(5)

129

日滿經濟共同委員會設置ニ關スル協定締結ノ
件審査委員會

昭和十年六月二十七日(木曜日)本院事務
所ニ於テ開會

出席者

一木 議長

平沼 副議長

審査委員長

荒井 顧問官

區
審
院

審査委員

河合顧問官

石井顧問官

原顧問官

石塚顧問官

石渡顧問官

林顧問官

國務大臣

岡田内閣總理大臣

廣田外務大臣

大角海軍大臣

林陸軍大臣

説明員

金森法制局長官

樋貝法制局参事官

川越對滿事務局長

栗山外務省條約局長

桑島外務省東亞局長

小林外務書記官

柳井外務書記官

安東外務事務官
北澤外務事務官
大久保外務事務官
永田陸軍省軍務局長
平井陸軍一等主計
吉田海軍中將
村上書記官長
堀江書記官
武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

外務大臣ヨリ本案協定成立ノ由末及大綱ニ付説
明アリ

河合顧問官ヨリ滿洲國ノ法律ニ據ル合辦會社ノ
有無ニ付質問アリ外務大臣及東亞局長ヨリ答
辭アリ

石塚顧問官ヨリ本協定ノ適用アルベキ日滿合
辦會社ノ名稱ニ付、石井顧問官ヨリ共同委員會

へノ諮問事項中會社ニ關スルモノヲ滿洲國ノ法律ニ據ル會社ニノミ限定シタル事由ニ付質問アリ東亞局長ヨリ夫々答辯アリ

石井顧問官ハ更ニ本協定ハ經濟同盟ニ進ム第一歩ナリヤ我國ハ此ノ協定ニ依ル共同委員會ノ決議ニ付安心シ得ベキヤ等ノ質問ヲ為シ條約局長ノ答辯アリ

原顧問官ヨリ本協定ニ依ル委員會ノ組織ニテハ最初ヨリ意見ガ一方ニ依リテ定マル虞ナキヤ、總務廳長ニハ常ニ日本人ヲ任ズルト謂フ約定アリヤ、

電信電話會社ニ對シテハ如何ナル形式ヲ以テ監督セルヤ等ノ質問アリ條約局長及東亞局長ヨリ交々答辯ス

同顧問官ヨリ更ニ委員ノ代理ニ關スル質問アリ條約局長及法制局長官ノ答辯アリ

次テ石塚顧問官ヨリ未定ノ日本側委員ノ一名ノ選出豫定ニ付質問アリ外務大臣ヨリ答辯アリ

同顧問官ハ更ニ日滿兩國間ニ密約ノ存否及委員會ニ提出スベキ原案作成ノ手續ヲ問ヒ外務大臣及陸軍大臣ヨリ答辯アリ

機密院

更ニ又滿洲ニ於ケル日本人ノ既得權ト滿洲國ノ法令トノ關係ニ付質問アリ條約局長ヨリ日滿議定書ニ於テ滿蒙ニ關スル現存ノ日支間ノ取極ハ及對ノ約定ナキ限り今後モ引續キ有效ナルベキコトヲ規定セル旨答辯アリ即チ同顧問官ハ斯ノ如キ日支間ノ協定ノ名稱ヲ示サムコトヲ要メ同局長之ヲ肯諾セリ

次テ何令顧問官ヨリ委員會ノ開會及諮問ノ手續ヲ問ヒ條約局長ノ答辯アリ原顧問官ヨリモ委員會ノ招集手續ニ付質問アリ同局長ノ答辯

機
密
院

アリ

石塚顧問官ヨリ朝鮮銀行、東洋拓殖會社ノ滿洲ニ於ケル事業ニ對スル監督及滿鐵附屬地ト本協定トノ關係ニ付質問アリ對滿事務局次長及條約局長ヨリ答辯アリ

右終テ原顧問官ヨリ我國憲法ハ憲法ノ定ムル所之ヲ使用スルハ國民ノ義務ナルニ拘ラズ我外交文書ニ於テ日本ノ國號ノ記載ヲ一定セザルヲ難ジ將來之ヲ改善スルノ考ナキヤトノ質問アリ外務大臣ヨリ我國號ノ使用方ニ付テハ之レク

區
審
院

研究中ナルが大日本帝國ト稱スルガ正當ナルベシ唯時ニ其ノ略稱ヲ用フルコトヲ妨ゲザルベク本問題ニ付テハ尚篤ト研究シタリト考フル旨ヲ答フ

荒井委員長ハ右ヲ以テ質問終了ト認メ國務大臣及説明員ノ退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

之ヨリ右委員ヨリ意見ノ陳述アリ本案ハ完璧トハ謂ヒ難キモ大體ニ於テ不可ナキニ由リ運用上ノ注意ヲ促シ之ヲ可決セラレ然ルベキモノト認ム

ルコトニ決シ報告書ノ作成ハ之ヲ委員長ニ一任ス荒井委員長閉會ヲ宣ス

(午後三時四十分閉會)

機密

監密

日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約締結方
件審査委員會

昭和十年十二月六日(金曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

一木 議長

平沼 副議長

審査委員長

荒井 顧問官

區 啓 院